

2019年度事業報告

2019年4月1日～2020年3月31日

1 概況

2019年度の事業計画に基づき、健全な納税者団体としての質的向上を図り、企業経営の健全な発展と申告納税制度の成果をあげることがを目標に総合的な事業運営や社会貢献活動を推進していくことができた。事業及び会議等の実施内容は以下のとおりである。

2 事業

①税知識の普及を目的とする事業

(1)新設法人説明会

八女税務署管内に新たに設立された法人及びこれから起業しようとする人を対象に、関係する国税及び地方税の基本的な税制の仕組みについて正しく理解してもらうことを目的として、2月7日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門統括国税調査官の野口信二氏と上席国税調査官の高橋和洋氏に依頼した。併せて消費税軽減税率制度等説明会も開催した。

(2)決算税務研修会

適正な申告書が作成され提出されるようにすることを目的として、3月24日に八女商工会館で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止した。

(3)税制改正説明会

改正法に則った誤りのない税務処理が行われるようにすることを目的として8月26日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門の統括国税調査官の野口信二氏と上席国税調査官の高橋和洋氏に依頼した。併せて消費税軽減税率制度等説明会も開催した。

(4)決算実務セミナー

適正な法人税及び消費税の申告が行われることを目的として、「1日でわかる経理の実務～基礎から学ぶ経理業務の仕組み、流れ、知識、心構え～」を7月2日に八女商工会館で開催した。講師はコンサルタントの林忠史氏に依頼した。

(5)全国青年の集い

税制に関する調査研究や租税教室の実施に関して意見交換、情報交換を行い、公益事業に生かすことを目的として、11月8日と9日に大分市で開催された大会に青年部会の正副部会長3名が参加した。

(6)租税教室

八女税務署管内に所在する小学校の6年生を対象に、近い将来において見識ある納税者として主体的に税との関わりを持つ人を育成することを目的として、青年部会の部会員が講師を務め、12月から2月にかけて9校で開催した。

(7)青年部会・女性部会税務研修会

税知識の普及を目的として、青年部会が10月17日に、女性部会が11月12日に、それぞれいわ井と八女商工会館で開催した。講師は青年部会、女性部会ともに八女税務署長の長尾雅博氏に依頼した。

(8)各種税務セミナー

消費税軽減税率制度を理解することを目的として、7月4日に消費税軽減税率対策セミナーを八女商工会館で開催した。講師は税理士の谷和也氏に依頼した。

②税知識の高揚を目的とする事業

(1) 税に関する各種表彰活動

八女税務署管内の全中学校、高等学校の生徒を対象に、税に関する関心を高めることを目的として、租税教育推進協議会の一員として「税」をテーマにした作文を募集したところ中学校が329編、高等学校が742編の応募があり、八女市で11月19日に、筑後市で11月14日に表彰を行った。

八女税務署管内に所在する小学校2校の6年生を対象に、近い将来において見識ある納税者として主体的に税との関わりを持つ人を育成することを目的として、女性部会が12月に税に関する絵はがきコンクールを開催したところ59作品の応募があり、2月に表彰を行い、展示し、一般に公開した。

(2) 全国女性フォーラム

税制に関する調査研究や租税教室・絵はがきコンクールの実施に関して意見交換、情報交換を行い、公益事業に生かすことを目的として、4月25日に富山市で開催された大会に女性部会の正副部会長2名が参加した。

(3) 成人式での税に関する小冊子の配布

八女税務署管内で開催される成人式会場にて、納税意識の高揚を図ることを目的として、新成人全員に税に関する小冊子1,250部を無償で配布した。

(4) ホームページ及び広報誌による税情報の提供

税に対する関心を高めることを目的として、ホームページを随時更新するとともに、広報誌「矢部川だより」54号と55号を9月と3月に発行し、税に関する情報記事を掲載し、会員配布のみならず銀行等の公共機関に設置、配布した。また、各税務研修会開催案内を随時ホームページに掲載し、会員及び非会員の参加を呼びかけた。

(5) 図書配布による税情報の提供

公益財団法人全国法人会総連合発行の「ほうじん」（季刊誌）や税に関する図書を会員及び非会員に随時配布し、税情報の提供に努めた。ホームページで非会員への書籍頒布を周知している。

③税制の調査研究及び提言に関する事業

(1) 全国税制改正要望大会

税制に関する意見要望を税制委員会が中心となって取りまとめ、10月3日に三重県津市で開催された全国税制改正要望大会に会長と税制委員長が参加した。

(2) 税制改正の提言・要望活動

公益財団法人全国法人会総連合によってまとめられた税制改正要望書を、12月16日に税制委員が野田国義参議院議員と三田村統之八女市長、角田恵一八女市議会議長に提出し、税制・税務に関する提言を行うとともに、ホームページや広報誌を通じて一般に周知した。

④地域企業の健全な発展に貢献することを目的とする事業

(1) 新社会人マナーセミナー

新規採用された職員を対象に、社会人として必要な能力を身につけさせることを目的として、小河之子氏を講師として4月2日に八女商工会館で、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会福岡支部筑後地区協会との共催で開催した。

(2) ビジネスコミュニケーション研修会

中堅社員として必要な能力を身につけさせることを目的として、誠意が伝わる話し方でのクレーム対応の方法等を、本山和子氏を講師として11月28日に八女商工会館で、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会福岡支部筑後地区協会との共催で開催した。

(3) パソコン講座

日常業務に必要な入力作業をサポートする機能やデータのビジュアル化等の操作技術を身につけさせることを目的として、「パワーポイント基礎と便利機能」を5月29日から6月26日に週1回の5回コースで、筑後市のパソコンスクールPCワークスで開催した。講師はPCワークスの専任講師に依頼した。

(4) 簿記講座

簿記の知識を身につけ、経営力を高めることを目的として、八女商工会議所と共催で、八女商工会館で開催した。9月2日から11月13日の週3回全28回コースで、講師は福岡県立柳河特別支援学校教諭の猿渡満徳氏に依頼した。

日商簿記2級の商業簿記の知識を深めることを目的として、八女商工会館で開催した。11月21日から2月27日に週1回の全12回コースで開催した。講師は河野孝信氏に依頼した。

(5) フラワーアレンジメント講座

職場環境や生活環境の美化を目的として、12月27日に正月用の講座を八女商工会館で開催した。講師はグリーン八女の江渕康枝氏に依頼した。

(6) 視察研修会

経営者の講演を聴き、企業を視察し、自社の経営に活かすことを目的として、11月20日に開催した。井関熊本製造所の工場見学をした後、加藤神社と熊本城を見学した。併せて「税金クイズ」（八女税務署作成）を実施した。

(7) 定時総会講演会

有意義な講話に触れることで、経営に関する有意義な学びを得る場を提供することを目的として、6月4日に人間性脳科学研究所所長の澤口俊之氏を講師に「脳を鍛えれば仕事はいまいく」というテーマで、いわ井で開催した。

(8) リスクマネジメントセミナー

企業が取るべきリスク対策やポイントを押さえることを目的として、筑後地区法人会5会との共同主催で、AIG損害保険株式会社との共催で社会保険労務士の赤澤将氏を講師として、「働き方改革に活かす健康経営とメンタルヘルス対策」というテーマで6月18日にハイネスホテル久留米で開催した。

(9) 経営セミナー

企業の実態を捉え、今後の経営に活かすことを目的として、10月8日に八女商工会館で「インスタグラムを使って販売促進セミナー」を開催した。「Instagramで無料プロモーション～運用方法と活用事例を徹底紹介～」というテーマを研修した。講師は㈱サイバーレコードの原田健太郎氏に依頼した。

⑤ 地域社会に貢献することを目的とする事業

(1) 献血活動

広く一般に呼びかけ、福岡県赤十字センターに協力することを目的として、八女ライオンズクラブ・黒木ライオンズクラブ・福岡県生コンクリート工業組合青年部との共催で、ゆめタウン八女（4月11日、11月14日の2回）、黒木町ふじの里（7月24日、11月15日、3月16日の3回）でそれぞれ開催した。

(2) 医療健康セミナー

正しい知識を学び、実際に身体を動かし、健康の自己管理を実践してもらうことを目的として、9月12日に八女商工会館で開催した。「身体と脳のアンチエイジング」をテーマに、講師は健康管理士の小久保晴代氏に依頼した。

また、からだに優しい発酵食品を知ろうをテーマに、11月12日に「手作りみそ教室」を開催した。講師は福岡市の株式会社田島屋味噌醸造元に依頼した。

(3)地域のイベント参画

飲酒運転撲滅キャンペーンを目的として、9月21日に酒販組合八女支部と共催して八女市の祭会場で女性部会員が中心となってティッシュとうちわの配布をする予定だったが、台風17号接近のため中止となった。

(4)慈善福祉活動

8月の前線に伴う大雨により被災された佐賀県下の一般市民の方の支援活動として、福岡県法人会連合会を通じて義援金を送付した。

⑥会員の福利厚生のための事業

(1)経営者大型保障制度の普及推進

会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合の経営者大型保障制度の普及推進を図った。

(2)ビジネスガードの普及推進

会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合のビジネスガードの普及推進を図った。

(3)がん保険制度の普及推進

会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合のがん保険の普及推進を図った。

(4)貸倒保障制度の普及推進

会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、一般社団法人福岡県法人会連合会の貸倒保障制度の普及推進を図った。

⑦会員の交流を図るための事業

(1)役員・委員会等懇談会

会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、役員及び委員会等の懇談会を随時実施した。

(2)青年部会・女性部会懇談会

部会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、企業視察研修会や新年会、懇談会を企画し、開催した。

(3)ボウリング大会

競技を通じて会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、10月11日に八女グリーンボウルで開催した。

⑧その他この法人の目的達成に必要な事業

(1)会員拡大

組織の健全な維持と財政基盤の再構築を図るため、11月に支部会議を開催し、会員増強に取り組んだ。

2019年度末 会員数・異動状況

会員数	747社
入会数	13社
退会数	20社

2019年度末 青年部会・女性部会 部会員数

青年部会員数	50名
入会数	13名
退会数	0名
卒業生	5名
女性部会員数	50名
入会数	0名
退会数	0名

(2)この法人の認知度の向上

あらゆる機会を利用してこの法人の認知度向上に努めた。